

1990年にハーバード・ビジネス・スクールを卒業し、当時勤めていた三菱商事の東京本社に戻った。そこで出会ったのが、「経営のプロを創出する」ことをミッションとするプロノバを後に創業し、現在も社長として活躍している、岡島悦子さんだ。あれからもう、30年以上の付き合いになる。

初めて出会ったとき、岡島さんは入社2年目で、同じ部の若手だった。97年に私がIRチームに異動になり、今度は同じチームで投資家・株主への財務広報の仕事をすることになった。とにかく明るく元気で、仕事も「やり過ぎ」なくらいに取り組む姿勢が印象に残っている。

人と人をつなぐコネクターとしての資質も持っていた。岡島さんは知の巨人、故松岡正剛さんと親しかった。「忙しいから」と渋る私を何度も松岡さんの経営塾に誘ってくれた。今では私にとって、ライフタイムの学びの場になっている。

岡島さんは丸井グループやKADOKAWAで社外取締役を務めながら、起業家支援にも精力的に取り組んでいる。各界のリーダーが集まるG1サミットやスタートアップのカンファレンスのICCなどでは会う機会も多い。常に変化・進化している姿勢に、いつも学ばせてもらっている。（やすぶち・せいじ「アクサ生命保険社長」）